

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部 こども施設企画課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立第1緑地保育センター（おひさまのいえ） 北九州市立第2緑地保育センター（もりのいえ）	施設類型	目的・機能
	所在地	北九州市若松区大字竹並町925番地の1 北九州市小倉南区長野530番地の3	I	— ⑦
	設置目的	豊かな自然環境の中で、児童に健全な遊びを与えて保育し、その心身の健全な発達を図ることを目的とする。		
利用料金制		<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	社会福祉法人 北九州市福祉事業団		
	所在地	北九州市八幡東区中央二丁目1番1号		
指定管理業務の内容		【第1・第2共通】 ・施設の運営と管理 ・宿泊保育事業 ・日帰り保育事業 ・親子宿泊事業 ・子育てグループサポート事業 ・出前講演事業 ・ファミリーレクリエーション事業 【第2のみ】 ・ホテル育成事業		
指定期間		平成31年4月1日～令和7年3月31日（※1年延長）		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点					
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		43					
(1) 施設の設置目的の達成	35	4	28					
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。								
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。								
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。								
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。								
[評価の理由、要因・原因分析]								
■第1緑地保育センター（※グレー網掛け箇所:コロナにより中止したもの）								
実施項目	【参考】H30年度(更新前)				H31年度			
	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率
宿泊保育	3,500人	99団体	3,526人	100.7%	3,300人	97団体	3,329人	100.9%
日帰り保育	5,000人	101団体	7,485人	149.7%	5,800人	94団体	7,361人	126.9%
親子宿泊	90人	3回	86人	95.6%	78人	2回	56人	71.8%
子育てグループ支援	200人	12回	245人	122.5%	180人	12団体	272人	151.1%
ファミリーレクリエーション	90人	3回	151人	167.8%	95人	2回	145人	152.6%
出前講演	2,500人	51回	5,213人	208.5%	4,800人	54回	5,506人	114.7%
年間稼働率	—	83.1%			—	91.7%		
実施項目	R2年度				R3年度			
	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率
宿泊保育	3,200人	0団体	0人	0%	3,100人	0団体	0人	0%
日帰り保育	5,700人	121団体	3,209人	56.3%	5,600人	125団体	3,228人	57.6%
親子宿泊	78人	0回	0人	0%	78人	0回	0人	0%
子育てグループ支援	170人	9団体	157人	92.4%	160人	6回	84人	52.5%
ファミリーレクリエーション	90人	0回	0人	0%	85人	0回	0人	0%
出前講演	4,700人	0回	0人	0%	4,600人	0回	0人	0%
年間稼働率	—	44.5%			—	52.5%		

実施項目	R4年度				R5年度			
	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率
宿泊保育	3,000人	0団体	0人	0%	2,900人	0団体	0人	0%
日帰り保育	5,500人	147団体	3,414人	62.1%	5,400人	147回	3,478人	64.4%
親子宿泊	78人	0回	0人	0%	78人	0回	0人	0%
子育てグループ支援	150人	9回	95人	63.3%	140人	9回	95人	67.9%
ファミリーレクリエーション	80人	0回	0人	0%	70人	4回	111人	158.6%
出前講演	4,500人	0回	0人	0%	4,400人	0回	0人	0%
年間稼働率	—	63.5%			—	63.5%		

※ …評価対象年度(以下、同じ)

■第2緑地保育センター(※グレー網掛け箇所:コロナにより中止したもの)

実施項目	【参考】H30年度(更新前)				H31年度			
	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率
宿泊保育	4,800人	140団体	5,052人	105.2%	4,500人	140団体	4,984人	110.8%
日帰り保育	6,000人	83団体	5,578人	93.0%	5,500人	75団体	5,175人	94.1%
親子宿泊	120人	3回	139人	115.8%	114人	3回	136人	119.3%
子育てグループ支援	400人	7回	537人	134.2%	360人	4回	263人	73.1%
ファミリーレクリエーション	260人	3回	477人	183.5%	200人	2回	536人	268.0%
出前講演	500人	11回	1,075人	215.0%	500人	17回	1,484人	296.8%
年間稼働率	—	85.1%			—	87.5%		

実施項目	R2年度				R3年度			
	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率
宿泊保育	4,450人	0団体	0人	0%	4,400人	0団体	0人	0%
日帰り保育	5,400人	148団体	4,940人	91.5%	5,300人	132団体	4,115人	77.6%
親子宿泊	144人	0回	0人	0%	114人	0回	0人	0%
子育てグループ支援	350人	1回	19人	5.4%	340人	0回	0人	0%
ファミリーレクリエーション	195人	0回	0人	0%	190人	0回	0人	0%
出前講演	490人	0回	0人	0%	480人	0回	0人	0%
年間稼働率	—	59.0%			—	52.4%		

実施項目	R4年度				R5年度			
	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率	数値目標	事業実施回数	実績	目標達成率
宿泊保育	4,350人	0団体	0人	0%	4,300人	0団体	0人	0%
日帰り保育	5,200人	155団体	5,122人	98.5%	5,100人	182団体	6,314人	123.8%
親子宿泊	114人	0回	0人	0%	114人	0回	0人	0%
子育てグループ支援	330人	2回	35人	10.6%	330人	4回	222人	67.3%
ファミリーレクリエーション	185人	0回	0人	0%	185人	1回	71人	38.4%
出前講演	470人	0回	0人	0%	460人	0回	0人	0%
年間稼働率	—	66.3%			—	84.1%		

■両施設共通

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止（以下、コロナ禍）のため、宿泊保育や親子宿泊、出前講演などの事業は中止となったが、宿泊保育の活動プログラムを日帰り保育用にアレンジして実施している。
- ・ 宿泊保育の活動プログラムを日帰り保育用にアレンジするにあたり、事前に意向調査を実施することで、コロナ禍における利用団体の視点に立ったサービスを提供できるよう努めている。
- ・ また、利用団体との打ち合わせでは、コロナ禍でも安心して施設を利用できるようスケジュールや活動プログラムについて十分に話し合いを行っている。
- ・ 利用実績のある団体には、11月や年度末に施設の使用を促す日帰り保育の案内を郵送し、利用者数増に努めている。
- ・ コロナ禍前には、親子宿泊、ファミリーレクリエーションの案内などの参加募集チラシを作成し、ターゲットを絞って配布している。直接、保育所等に持参しPRすることで関心度も増し、特にファミリー向けのイベントは、定期的に保護者に案内してくれる保育所等も増えてきている。
- ・ また、HP掲載情報を月1～2回程度更新し、季節に応じた毎月の最新トピックスや空き状況などを積極的に発信したり、主な事業の記事を市政だよりに掲載したりするなど、常に施設の設置目的に応じた効果的な広報活動を展開している。
- ・ 施設利用後は、利用団体から届いた児童作成の作品を館内に掲示するとともに、お礼状を送付し、利用団体児童が卒園の時期になると、園にお祝いの言葉を送るなど、関わりを持った児童との交流を大切にすることで、保育の一端を担う取り組みを行っている。
- ・ 一般開放デーを実施するに当たっては、近隣の施設へチラシを直接持参し、PRに努めた結果、多くの来場者（H31年度：536名）を確保することができ、保育園での宿泊保育に参加できなかった児童や、宿泊保育を控えているため施設の様子を知りたくて参加したなどの声もあり、大変喜ばれる結果となっている。
- ・ コロナ禍前に出前講演で実施していた、クリスマス会や正月あそび、節分のプログラムを期間限定のプログラムとして計画したところ、申し込みが増加した。
- ・ 平成26年度から実施している「緑地セミナー」を「野外保育研修会」に改称し、野外活動を通じ、緑地保育センターへの理解を深め、自然に触れる体験をしてもらうことをねらいに指導者研修を実施した。（第1・第2の共同開催）

平成31年度には、初年度から3年程度の指導者28名が参加した。

■第1緑地保育センター

- ・ 空き日を利用して、子育て支援を目的とした家庭で楽しむ子育て情報動画を作成し YouTubeで発信することで、親子宿泊の代わりにする情報提供ができるよう工夫した取り組みを行った。
- ・ 令和5年度には、テレビ取材を受け、オリジナルキャラクターの「とんだあまん」について広く知られるきっかけとなった。また、過去利用した方の訪問があるなど反響があった。

■第2緑地保育センター

- ・ 「ほたる育成事業」においては、隣接河川の工事によりほたるの飛翔が望めなくなったため、平成26年度から継続して施設裏の小川の環境整備に取り組んだ結果、多くのほたるの飛翔が宿泊室から確認できるようになり、児童はもちろん先生方にも大変好評となっている。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

- ・ 利用団体の代表者や保護者を対象に毎年実施しているアンケートでは、すべての年度、両施設ともに「施設の充実度」「サービスの充実度」「プログラムの充実度やPR度」のすべてにおいて「非常に満足」「満足」が99%以上となっている。
- ・ 総合評価においても、両施設ともに「非常に満足」「満足」と回答した割合がすべての年度で100%となっており、利用者の満足度は非常に高くなっている。

《アンケート集計結果（「非常に満足」「満足」の割合）》

年度	施設区分	施設	サービス	プログラム・PR	総合評価	回答数
【参考】H30年度 (更新前)	第1緑地	98.9%	99.9%	100%	100%	96
	第2緑地	99.9%	100%	100%	100%	186
H31年度	第1緑地	99.6%	99.7%	99.7%	100%	96
	第2緑地	99.8%	100%	100%	100%	162
R2年度	第1緑地	99.7%	100%	100%	100%	68
	第2緑地	100%	99.9%	99.8%	100%	137
R3年度	第1緑地	100%	99.8%	100%	100%	77
	第2緑地	100%	99.9%	99.7%	100%	127
R4年度	第1緑地	100%	100%	100%	100%	96
	第2緑地	100%	100%	99.8%	100%	146
R5年度	第1緑地	100%	99.8%	100%	100%	82
	第2緑地	100%	100%	100%	100%	145

- ・ アンケート中の自由記入欄に記載された内容については、原則として、その都度、回答や説明を行っている。
- ・ さらに、利用団体との事前打合せや当日の協議を随時行うことで、意見・要望についての聞き取り調査を行い、利用者の意見・要望に対して誠意を持って対応するとともに、その把握に努めている。
- ・ 苦情への対応については、「北九州市福祉事業団福祉サービス苦情解決実施要項・事務取扱要領」に基づき、苦情・相談窓口を設けている。利用者アンケートの毎回の実施や、利用者の声の箱も設置しているが、すべての年度において、苦情等の申し出はなかった。
- ・ コロナ禍のため、宿泊保育が中止になったが、それに代わる日帰り保育の活動プログラムを充実させて実施したことで、アンケートでも、「様々な工夫がされたプログラムで子どもたちも心から喜んでいて、十分に楽しめた。」との声が多く聞かれた。
- ・ また、毎月の指導会議や各事業ごとの反省会議を開き、プログラム内容や指導方法、施設内外の環境改善等を検討し、随時、見直しや改善を行うことでサービスの向上に努めている。

2 効率性の向上等に関する取組み	30		18
(1) 経費の低減等			
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。	30	3	18
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

- ・ 施設の維持管理に係る再委託業務については、法人が管理する施設と一括して競争入札に付することで経費削減に努めている。
- ・ 館内一部の清掃を職員が行ったり、段階的に各部屋の照明をLED照明へ取替えを行ったりするなど、経費削減に努めている。
- ・ 事務室暖房は、ガスファンヒーターを使用し、灯油の使用料を削減している。
- ・ また、センター会議の議題に光熱水費についての話し合うようにし、無駄をなくすよう努めている。
- ・ さらに、利用者に向け、節電・節水の協力を呼びかける掲示物を増やした。
- ・ これらの取組みにより、光熱水費等の削減に努めており、期間を通じて一定の削減効果が得られた。

《経費の推移》

総事業費	【参考】H30年度 (更新前)	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算	81,423 千円	86,001 千円	86,790 千円	86,790 千円	86,790 千円	86,790 千円
人件費	48,422 千円	48,889 千円	57,630 千円	57,773 千円	58,691 千円	58,276 千円
光熱水費	5,116 千円	4,651 千円	3,143 千円	4,930 千円	3,909 千円	3,489 千円
事業費等	27,885 千円	32,461 千円	26,017 千円	24,087 千円	24,190 千円	25,025 千円
決算	81,423 千円	86,011 千円	86,819 千円	86,800 千円	86,790 千円	86,826 千円
人件費	48,166 千円	48,112 千円	46,727 千円	45,561 千円	51,445 千円	56,134 千円
光熱水費	5,070 千円	4,513 千円	3,142 千円	3,391 千円	3,733 千円	3,488 千円
事業費等	28,187 千円	33,386 千円	36,950 千円	37,848 千円	31,612 千円	27,204 千円

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	—	—	—
-------------------------------------	---	---	---

[評価の理由、要因・原因分析]

※ 本施設は利用料金制を取っていないため、該当なし。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		14
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況			
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	10	4	8
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

■両施設共通

- ・ 毎年、事業計画に基づき、適正な人員配置及び運営を実施している。
- ・ 両施設の指導力、技術力向上を図るため、交流指導研修を実施している。

■第1緑地保育センター

- ・ 職員の資質向上のため、「福祉事業団保育士研修」「市有建築物の日常点検等に関する現地研修会」「ハラスメント防止研修」等に積極的に受講させている。
- ・ また、職場内で「人権研修」「コンプライアンス研修」「嘔吐物処理研修」「救命講習」を実施している。さらに、職場内伝達研修やOJTの活用により、指導力及び研修効果のアップに繋げている。
- ・ 隣接するグリーンパークと連携し、プログラムに動物とのふれあいを取り入れることでプログラムの多様化を図っている。また、平成27年から、「市立教育センター」の依頼で、「玄海青年の家」の職員と協働して、新規に採用された幼稚園教諭の野外活動体験研修の講師を務めている。

■第2緑地保育センター

- ・ 職員の資質向上のため、「事業団職員研修」「人権研修」「役員・施設長研修」等に積極的に受講させている。
- ・ 施設が位置する長野緑地公園内の清掃活動や防犯活動に取り組み、必要に応じて警察や地域との連携を図っている。
- ・ また、全国野外保育センター連絡協議会参加の施設と連絡を取り合い、情報交換をすることで運営に役立っている。
- ・ 平成31年度には、一般開放デーに保育関係の仕事を目指す学生や北九州市子ども・若者応援センター「YELL」等から、ボランティアを受け入れ、関係団体との協働を図っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	10	3	6
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・ 利用者の個人情報については、「北九州市福祉事業団個人情報保護規程」に基づき、必要最小限の内容の把握に努め、個人情報データはパスワードで管理、個人情報を含む書類は施錠できる書棚で保管し、不要になった個人情報は速やかにデータ消去及びシュレッダー処分を行うなど、適正に管理している。
- ・ 宿泊保育の利用については、抽選により利用日を決定し、ファミリーレクリエーションや親子宿泊についても、市政だよりやホームページで公募したうえで、応募者多数の場合は抽選により利用者を決定している。それ以降の申し込みについても先着順にするなど、公平を期している。
- ・ 安全対策では、「緑地保育センター危機管理・安全対策マニュアル」及び「緑地保育センター安全管理点検項目」に基づき、危険箇所の有無について点検し、利用前の打合せ時や当日の確認を徹底している。
また、幼児にも分かりやすいようイラストによる危険箇所の表示を行ったり、利用団体から代表の管理者（「まもるんじやー」というキャラクター）を選出したりと、安全管理等の意識を高める取組みを行っている。
- ・ 不測の事態に備え、適切な行動が取れるように、各種避難訓練（火災、地震、不審者・野生動物侵入時等）を適宜実施している。
- ・ 設備面については、防犯カメラや防犯灯、不審者対策の防護器具などを設置している。また、施設内に設置してあるAEDを使用し、職員に対し救命講習を行っている。
- ・ 「北九州市福祉事業団施設事務局緊急連絡網」を整備し、電話、ファックス、電子メール等により迅速かつ正確に情報を伝達できる体制を確立している。
- ・ 災害時には、「北九州市福祉事業団災害対策要綱」により、災害対策本部の設置や人員動員体制の整備を行い、施設利用者の生命・身体・財産を保護する他、施設・建物・設備等を防護するための体制を確立している。

【総合評価】

合計得点	75	評価ランク	B
【評価の理由】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2～5年度はコロナ禍のため、宿泊保育の中止や一日の利用団体数の制限を行う中で、制限下でも楽しんでもらうために何が出来るかを考え工夫した点や、コロナ禍でも安心して施設を利用できるよう、利用団体の意見・要望の把握に積極的に取り組み、次年度に活かす姿勢を評価した。 ・ 特に、宿泊保育に代わる体験ができるよう、日帰り保育の利用時間を通常より長く設定したり、プログラムを厳選・凝縮したりした点などが、利用団体の満足度アップにつながっている。 ・ また、利用団体の前年のアンケート内容を参考に、事前協議を実施するとともに、当日も随時打ち合わせを行うことで利用者のニーズに応え、サービス向上に努めている。 ・ これまで利用日の日程調整については、一同に会して抽選会を実施していたが、感染症対策として、電話で実施するなど柔軟に対応している。 ・ さらには、利用団体の児童との継続した交流を大切にすることで、保育の一端を担い、 			

次年度の利用に繋げる切れ目ない取組みについても評価できる。

- ・ 両施設とも地域や近隣施設と連携することで施設の魅力向上を図っている。
- ・ 施設の管理や安全対策、危機管理については、それぞれの目的に応じたマニュアル等を整備しており、適切と判断できる。また、コロナ禍における、感染症対策等も徹底されており、利用者の安心につながっている。

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

適切に評価されている。

今後少子化も進む中、利用団体の増加は困難と思われる。個人利用の目標設定など今後の仕様について検討いただきたい。

【評価レベル】

評価レベル	乗率		評価レベルの考え方
5	100%	良	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)